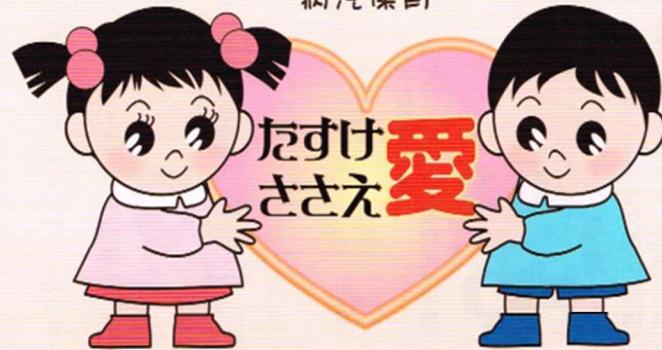


あいあいきっず

—病児保育—



令和 6 年 1 月 号

年が改まり、寒さの中にも清々しさを感じられ、身も心も引き締まる思いがします。さて、先月はインフルエンザ感染症の利用児さんを多くおあずかりしました。比較的症状は軽く元気に過ごす利用児さんが殆どのなか、鼻症状や咳が酷く不眠、また一旦解熱後も再度発熱など、待機期間の延長をせざるを得ないこともあります。新学期もスタートし、集団生活が始まったことにより、新型コロナ感染症の今後の動向も気になるところです。これまで行ってきた手指消毒や咳エチケットは有効ですので、引き続き継続し、感染拡大に努めましょう。

今年も安心しておあづけ頂ける環境を提供できるように、基本的な感染対策についてまいります。本年もよろしくお願ひいたします m(_ _)m。

感染性胃腸炎

原因:細菌(病原性大腸菌等)、ウイルス(ノロ・ロタウイルス等)

潜伏期間:ウイルスでは 1~3 日程度

症状:発熱、嘔吐、下痢

感染経路:糞口感染

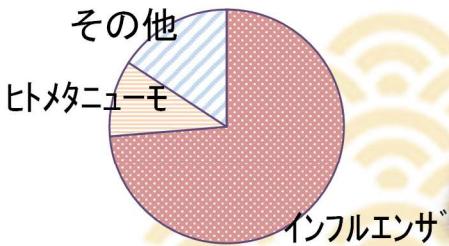
吐物・便等が乾燥し空気中に浮遊すると空気感染

感染予防・感染拡大防止:液体石けんを泡立てて手洗いの励行
嘔吐物や便の次亜塩素酸ナトリウムを用いた適切な処理の徹底

2023年 (報告週)		第51週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2023年)
インフルエンザ/COVID-19定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	2,294	25.78	49,725
	COVID-19	298	3.35	26,797
	○ 咽頭結膜熱	286	5.61	2,900
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	172	3.37	2,633
	○ 感染性胃腸炎	334	6.55	14,403
	水痘	10	0.20	261
	○ 手足口病	80	1.57	2,255
	○ 伝染性紅斑	2	0.04	61
	突発性発しん	15	0.29	829
	ヘルパンギーナ	9	0.18	5,325
小児科定点	流行性耳下腺炎	3	0.06	164
	RSウイルス感染症	1	0.02	4,304
	急性出血性結膜炎	—	—	2
	流行性角結膜炎	7	1.00	205
	細菌性結膜炎(真菌性を含む)	—	—	6
	無菌性結膜炎	—	—	6
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	—	—	1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	0.00	—
	報告数合計	3,511	0	109,877

○印は前週比増

12月利用児病名割合



予約受付時間7:30~20:00 (月~土)

(日曜・祝日を除く)

病児病後児保育あいあいきっず

TEL 26-0404

不明点等、ご連絡下さい(^_^)

